



新機能および変更された機能に関する情報

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [新機能および変更された機能に関する情報](#) (1 ページ)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、本リリースに関するこのガイドでの重要な変更点の概要を示します。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: *Cisco APIC* リリース 5.2(4) の新機能と変更情報

特長	説明	参照先
Cisco NX-OSから Cisco ACI POAP への自動変換 IPN サポート	IPN デバイスのみを介して Cisco APIC クラスタに到達する Cisco ACI スイッチを追加または交換できるようになりました。	Cisco NX-OS から Cisco ACI POAP への自動変換の注意事項と制限事項

表 2: *Cisco APIC* リリース 5.2(3) の新機能と変更情報

特長	説明	参照先
Cisco NX-OS から Cisco ACI Cisco ACI POAP への自動変換	Cisco NX-OS から Cisco ACI Power On Auto Provisioning (POAP) への自動変換によって、最初にネットワークに導入されたノードでソフトウェアイメージをアップグレードし、スイッチ上に構成ファイルをインストールするプロセスを自動化できます。	Cisco NX-OSからCisco ACI POAPへの自動変換について

表 3: Cisco APIC リリース 5.2(1) の新機能と変更情報

特長	説明	参照先
レイヤ3ネットワークを介したファブリックへの APIC クラスタ接続	APIC クラスタのサポートはファブリックに直接接続されていませんが、レイヤ3ポッド間ネットワーク（IPN）によって接続されています。クラスタの初期設定で「スタンドアロン APIC クラスタ」を有効にします。	• アクティブ APIC とスタンバイ APIC のセットアップ • 「<i>Deploying APIC Cluster Connectivity to the Fabric Over a Layer 3 Network</i>」ナレッジベースの記事も参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。